

令和七年度一般選抜（前期日程）「国語」解答例

「二」

問一 ①ふさわ（しかった） ②はんよう（性） ③せつし（的）

問二 覗き見

問三 誰にも見られずに、都市が手に入るから。（一九字）

問四 個人

問五 他者と自分とが眼差しを交わし、互いの匿名性を取り払うこと。（二九字）／他者と自分を個人と捉え、眼差しによる相互関係を意識すること。（三〇字）

問六 言葉は全体を志向するが、写真撮影は対象を断片化する点が対照的である。また、写真の断片は、言葉が人間を個人として表現してゆく際の思考を促し、再出現させてゆくための素材であるという点では相補的でもある。（九九字）

「二」

問一

A 物足りなく B なるほど C 盛大に D 身分に応じて

問二

X シク活用形容詞「ゆゆし」終止形＋終助詞「かし」
Y ラ行四段活用動詞「わたる」連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」連用形＋完了の助動詞「ぬ」命令形

問三

女君は、夫に向かって、自分が喪に服しているのに大将殿まで籠るようなことがあると子どもたちが心配なので、「籠らないでください」と言っている。

問四

② 大将殿
③ 女君

問五

袖を濡らしてくさらせるほどに涙の川が深いので、それを淵というが、喪服のことと藤の衣というのであったことですよ。

問一 ア 使下王良与ニ嬖奚一乗上

イ わうりやうをしてへいけいとのらしむ

問二 「賤工」と言ったのは一日中狩りをして一羽も獲れなかったからであり、「良工」と言ったのは朝だけで十羽も獲れたから。

問三 ウ

問四 ウ

問五 本来作法通りならうまくいくはずなのに、嬖奚はこちらが合わせてあげなければできな人物であるから。（四十八字）

問六 いくら成果を上げても、道を枉げてはだめだ。（二十一字）